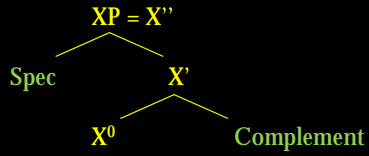
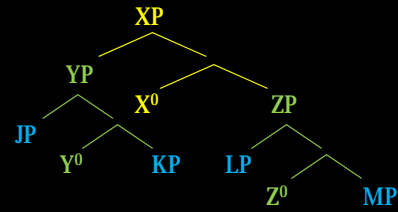


Xバー理論 X-Bar Theory



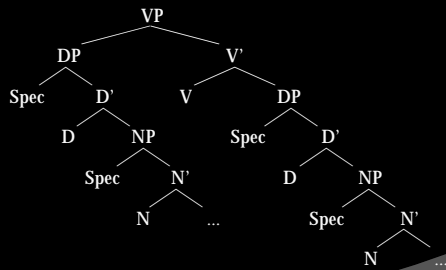
X⁰: 主要部 head
 XP: 最大投射 maximal projection
 Spec: 指定部 Specifier
 Complement: 補部

1



言語構造のフラクタル性
 同じ基本パターンの繰り返し (recursion)

2



3

◎ 句構造は常にXバー式型 (スキーマ) を遵守するかたちで投射される

◎ Xバー理論によって文の骨組みを作り、そこへ語彙挿入を行う 深層構造、D構造

◎ Xバー理論自体は、文法の (サブ) モジュールの一つ

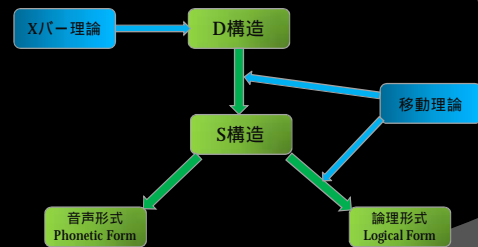
4

Xバー理論
+ 語彙挿入



5

1970 ~ 80年代の文法モデル



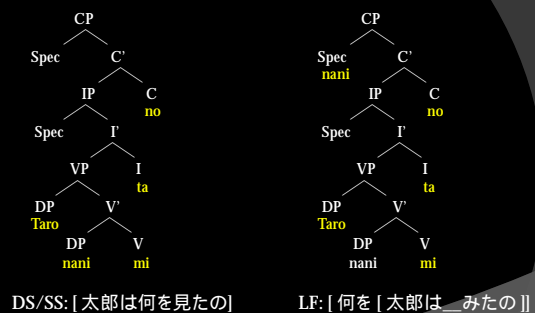
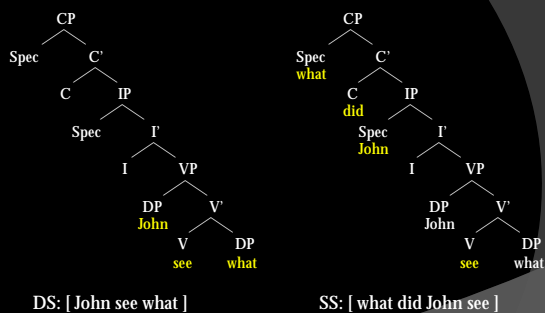
6

表示のレベル Levels of Representation

- ◎ D構造 D-Structure
- ◎ S構造 S-Structure
- ◎ 論理形式 Logical Form (LF)
- ◎ 音声形式 Phonetic Form (PF)

◎ 文法は、これら4つの表示レベル間の写像関係を定義する

◎ また、各表示レベルが満たすべき適格性条件 well-formedness conditions を定める



Wh移動 Wh-movement

- ◎ 英語では DS SS の写像段階で適用
- ◎ 日本語では SS LF の写像段階で適用
- ◎ LFは同じ、wh疑問文としての意味構造
- ◎ PFは、英語でのみwh移動が顕在化する

◎ シンタクスの仕組み自体はすべての個別文法で同じ

◎ 操作の適用のタイミングが異なるために、表面的には異なって見える

- (1) What did you buy __?
- (2) a. 君は何を買ったの
- b. [何を [君は __ 買った] の]

仮定: どの言語でもWh疑問文としての意味表示は同一

日本語でも非顕在的にWh移動が適用する

13

Wh移動の制限

- (1) Why do you think [John hates the girl __]?
- (2) きみは [太郎がなぜその少女を嫌っていると] 思うの

14

Wh移動の制限

- (3) * Why do you know [the girl who John hates __]?
- (4) * きみは [太郎がなぜ嫌っている少女] を知ってるの
- (3) 関係節内部からwhyを取り出すことはできない
- (4) 同様に「なぜ」が非顕在的に移動すると考えると、同じ説明が可能になる

15

代名詞の束縛

- (1) Who thinks he is handsome?
- a. 誰がアイツがハンサムだと思ってるの
- b. 誰が自分がハンサムだと思ってるの

heは第三者を指す指示的用法に加え、whoに束縛される変項(変数)としての用法を持つ(束縛変数 bound variable)

16

代名詞の束縛

- (2) Who does he think __ is handsome?
- 変数解釈は不可能
- 変数解釈に必要な構造関係が満たされていないため

* [who [... he ... __]]

17

代名詞の束縛

- (3) 誰が自分がハンサムだと思っているの
- (4) * 自分が誰がハンサムだと思っているの

(4)でも「誰」が移動すると考えると、(2)と同じ説明ができる

* [誰 [... 自分 ... __]]

18

Wh移動の言語間差

- (1) Who did you see? cf. *You saw who?
- (2) 君はだれに会ったの
- (3) a. Qui as tu vu?
b. Tu as vu qui?

Whを元位置に残す (wh-in-situ) 言語でも、論理形式(LF)は同じ

19

多重Wh疑問文

- (1) Who saw whom where?
cf. *Who whom where saw?
- (2) 誰がどこで誰に会ったの
- (3) ブルガリア語:
koj kogo kude vizda (who whom where sees)

20

痕跡 (Trace)

要素が移動すると、元位置にはその痕跡 (音形を持たないコピー)が残る

- (1) Who did you see *t*?
- (2) Mary was arrested *t*.

21

Wanna縮約

- (1) I want to go shopping. I *wanna* go shopping.
- (2) Who do you want to visit?
a. Who do you want *t* to visit?
b. Who do you want to visit *t*?
- (3) Who do you wanna visit?
a. * Who do you want *t* to visit?
b. Who do you want to visit *t*?

22

◎ 音形を持たない痕跡の介在が、wanna縮約をブロックしている

◎ 空範疇のふるまいは、「聞いて」覚えるものではない 経験によらない生得的知識の関与

23